

「会員短信 48」

「老残のマンドリル」

棕本望生

約半世紀にわたり勤めた仕事を辞めて二年半が過ぎた。退職と同時に煙草も止めた。葉は沢山呑んでいるが、この歳としては健康な方かもしれない。退職と同時に始めたウォーキングは何とか続いている。俳句はこのウォーキング中に詠うことが多い。

辞していま後ろ歩きに観る桜

蝻のみち二キロ地点をUターン

最近、シンビジュームや新種の目高を飼って楽しんでいる。庭には寒さを凌ぐための温室を作り、中に入って楽しんでいる。

弁解をすれば嘘めく室の花

もうよさう目高泡吹く水掛け論

変わって、ゴルフはめっきり減った。家庭菜園はこれまで以上に力を入れている。俳句は、新型コロナの影響でリアル句会は殆んどできず、「遊子ネット句会」を運営している。

かれこれ十年以上になるが、「俳句の集い！望生の俳句」と言うブログはずっと続けている。俳句と趣味の花木の画像だけのシンプルなブログで、欠かさず毎日書いている。

ワクチンを打つて続きの畦を塗る

このところお休み状態ではあるが、川柳も楽しんでいる、「虚心（きょしん）」という柳号ももっている。そんなこんなの日常が私の元気の源である。

春遠からじ老残のマンドリル